

今後の
取り組み
1

女性研究者育成支援ジャーナルクラブ

ジャーナルクラブは女性医師・研究者支援センターにて毎月定期的に開催され、海外の一流雑誌に掲載された最新の研究を読み解き、リサーチマインドを醸成させることを目的に実施しています。これまで述べ200名を超す参加者の皆様にお越しいただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。2015年4月からは帝京大学大学院公衆衛生学研究科の選択授業と合同で開催し、疫学論文の批判的吟味を学びます。



2015年度ジャーナルクラブ開催概要

時間：16時45分～18時15分
場所：帝京大学女性医師・研究者支援センター
(帝京大学医学部附属病院6階医局内)
日程：4月9日・23日、5月28日、6月11日・25日、
7月9日・23日、8月27日、9月10日・24日、
10月8日・22日、11月12日・26日、
12月10日

※詳細は、下記「帝京大学女性医師・研究者支援センター」までお問い合わせください。

今後の
取り組み
2

ハーバード大学キャサリンベイッカー教授による講演会を開催
～Career path as a woman researcher and tips for Teikyo women researchers～

2015年4月6日(月)、ハーバード公衆衛生大学院健康政策・経営学部主任教授のキャサリンベイッカー教授をお迎えし、帝京大学の女性医師・研究者に贈るキャリア構築に向けてのインフォーマルな講演会を開催いたします。貴重なお話を伺う機会ですので是非ご参加ください。

ハーバード公衆衛生大学院
健康政策・経営学部主任教授
Katherine Baicker 教授



要
申し込み
講演会開催概要

日時：2015年4月6日(月)16時45分～17時45分
場所：帝京大学女性医師・研究者支援センター
(帝京大学医学部附属病院6階医局内)

※お申し込み・詳細は、下記「帝京大学女性医師・研究者支援センター」までお問い合わせください。

TOPICS

女性医師・研究者支援センター内の
書籍コーナーがより充実しました!!

「男女共同参画」や「女性労働問題」、「女性のキャリア形成」、「家族問題」、「ワークライフバランス」、「質的研究」など、さまざまなテーマの書籍の貸し出しを行っております。当センターの開室中は、いつでも気軽にお越しください。

【女性医師・研究者支援センター開室曜日・時間】
月～金 9時～17時



ホームページが新しくなりました!

帝京大学 女性

検索

または、

http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/support_center/ で検索してください。

■お問い合わせ先 帝京大学女性医師・研究者支援センター 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 病院棟6階

Tel. 03-3964-8456 / Fax. 03-3964-8457 / E-mail : women@med.teikyo-u.ac.jp

開室曜日・時間：月～金 9時～17時

※掲載情報は2015年3月現在のものです。編集：堀江 早希

帝京大学女性医師・研究者 支援センター NEWS

Teikyo University Support Center for Women
Physicians and Researchers

vol.04



英国事例に学ぶ「質的研究手法」 スキルアップセミナーを開催

2015年2月4・5・6日の3日間にわたり、イギリス・ダラム大学医学教育センターよりセンター長のJanet Illing教授をはじめ、Madeline Carter先生、Hannah Hesselgreaves先生、Charlotte Ruth Rothwell先生にお越しいただき「質的研究手法」スキルアップセミナーを開催しました。質的研究とは、人文社会・医療といった幅広い分野で用いられている研究手法であり量的研究では明らかにできない概念の生成や関連因子の関係などを導き出し、近年、量的と質的を融合させた混合研究手法(Mixed method)が目まぐるしく注目をされています。

1日目のレクチャーでは、イギリスにおける女性支援の取り組みやその組織の意識改革の方法、国際誌にアクセプトされる論文の書き方やテクニック・コツを女性センターにてご講話いただきました。2日目は初心者向けに質的研究の概論、3日目は具体的な質的研究手法について質的研究のソフトを用いてワークショップが開催されました。参加者はテーマに分かれ研究デザインを立案し、実際にデータのコード化を行い、分析の方法の概略を学びました。全国の医学教育分野で教職に就いている方が参加者の大半を占め、北は秋田県から南は熊本県まで3日間で延べ120名以上の方々にご参加いただきました。参加者同士のネットワークも広がり、質的研究に必要なノウハウや男女共同参画、医学教育、卒後研修に関連する有用な情報を共有することができました。今年秋にまた質的研究およびシステムティックレビューなど英国の研究事情を交えながら第二弾を計画中です。今回、出席できなかった帝京大学の関係者の方々は是非、次回ご参加ください。

尚、講義資料は当センターHPよりダウンロードが可能です。

セミナー・ワークショップ概要

英国事例に学ぶスキルアップセミナー・ワークショップ

日時：2015年2月4日(水)～2月6日(金)
場所：帝京大学女性医師・研究者支援センター/板橋キャンパス

4日(水) 場所：女性医師・研究者支援センター

- AM: Small meeting
1 Women support in UK
2 How to write a good paper to a good journal
3 Tips of writing a scientific paper
PM: 交流会(希望者のみ)

5日(木) 場所：板橋キャンパス102講義室

- AM: Introduction 9時～12時15分
1 Perspectives / knowledge lecture
2 Qualitative methods including practical tips
PM: Qualitative Research methods 13時15分～16時30分
3 Qualitative approaches
4 Study design
5 Sampling
6 Ethics
7 Challenging areas e.g. sensitive issues

6日(金) 場所：板橋キャンパス102講義室

- AM: Workshop 9時～12時15分
1 Qualitative analysis and coding :
paper coding, using software to code data
e.g. NVivo, practical examples.
PM: Workshop II 13時15分～16時30分
2 Writing up findings
3 Designing a qualitative study

特集

学内外でのセンターの活動

2014年度、下半期の帝京大学女性医師・研究者支援センターの取り組みをご紹介します。

私立医科大学協会に女性医師支援委員会が設立

最近の医師国家試験合格者の3割以上を女性が占め、女性医師が増加している一方、女性医師が働き続けるためにはワークライフバランスを保ち続け、その能力を十分発揮できるシステムを構築することが喫緊の課題です。このような問題を取り上げるため、一般社団法人日本私立医科大学協会において新たに「女性医師支援委員会」が設置され、沖永寛子センター長が委員長、野村恭子室長が委員に就任しました。

現在、29私立医科大学を対象として、医学部における男女共同参画講義とキャリアデザイン、卒前キャリア教育や教員、附属病院の職階別男女比率、男女共同参画推進委員会の設置状況、卒後のキャリア支援の状況などについて調査を行っています。

全国私立医科大学医学部同窓会の活動

全国医学部長病院長会議「平成23年度女性医師の就業環境に関する実態調査」2011年の資料によれば、女性医師は国立に比べ私立に多く在籍していることが知られています。そこで、慶應義塾大学医学部同窓会理事会の保育担当理事らが全国私立医科大学医学部同窓会を經由し、2012年に全国私立医大附属大学病院内保育施設調査を実施しました。その結果、保育の運営状況は芳しくなく、公的補助金は全人件費の1割をカバーする程度であることがわかりました。この結果を受けて、「全国私立医大附属大学病院内保育施設への公費拡充要求」プロジェクトチーム（仮称）は、2014年7月に厚生労働省や国会議員への陳情を行い、2015年2月にも再度国会議員への陳情を行いました。このプロジェクトチームには当センターの野村恭子室長も参画しており、2回目の私立医科大学医学部附属病院保育所の運営調査について、2014年の全国会において発表を担当しました。今後は、私立医科大学女性医師支援委員会と足並みを揃えて活動をしていく予定です。

帝京大学教員アンケートの実施

昨年度に引き続き、帝京大学においての働き方、育児・介護などの実態、男女の社会的役割分担への意識を把握するとともに、その対策を立案し支援計画に活かすため「育児・介護・研究支援と男女の役割意識に関するアンケート調査」を実施しました。結果はまとも次第ご報告させていただきます。

帝京－ハーバードプログラム
スピノフ・セッション

2015年1月、帝京－ハーバードプログラムスピノフ・セッションが帝京大学大学院公衆衛生学研究科と当センターの共催にて開催されました。ハーバードセッションミニ講義では、デイヴィッド・クリスティアーニ教授（ハーバード公衆衛生大学院・環境保健学）とマーセロ・バガノ教授（ハーバード公衆衛生大学院・生物統計学）の講義が行われました。

プログラム概要

帝京－ハーバードプログラム
スピノフ・セッション2015

日時：2015年1月12日（月） 13時30分～17時
場所：帝京大学板橋キャンパス 大学棟本館2階204教室

- 第1部 入試説明会
帝京大学大学院公衆衛生学研究科
帝京大学産業保健高度専門職養成の大学院プログラム
- 第2部 ハーバードセッションミニ講義
デイヴィッド・クリスティアーニ教授（ハーバード公衆衛生大学院・環境保健学）
マーセロ・バガノ教授（ハーバード公衆衛生大学院・生物統計学）
- 第3部 シンポジウム：災害からの復興とレジリエンス
 - Opening remarks: Prof. Kazue Yamaoka
 - Understanding recovery in Tohoku area by social epidemiology: Prof. Ichiro Kawachi
 - Report from panelized temporary houses and privately rented houses in Miyagi prefecture: Assoc. Prof. Jun Aida
 - Report from the study group for Ishinomaki: Voluntary students from Ishinomaki study group
 - Child and recovery support through music: Yutaka Kikugawa (El Systema Japan)
 - Report from an NGO staff (tentative)
 - Discussion
 - Networking party (Complimentary coffee, tea and snacks served)



デイヴィッド・クリスティアーニ教授 マーセロ・バガノ教授

帝京の取り組みを紹介する講演活動

1. 私立医科大学病院中央検査部部長技師長会議

2014年6月、私立医科大学病院中央検査部部長技師長会議が本学にて行われ、野村恭子室長が女性支援に関する取り組みについて講演しました。



2. 私立大学医学部4大学における復職支援を含む女性医師支援の取り組み

2015年2月、「私立大学医学部における復職支援を含む女性医師支援の取り組み・東京女子医科大学・東京医科大学・帝京大学・東京慈恵会医科大学での実践紹介」が東京慈恵会医科大学において開催されました。当センター野村恭子室長が女性医師支援に対する取り組みについて講演しました。

シンポジウム概要

日時：2015年2月7日（土） 14時30分～16時30分
場所：東京慈恵会医科大学 大学1号館6階講堂

- 学長挨拶
松藤千弥氏（東京慈恵会医科大学 学長）
- 院長挨拶
丸毛啓史氏（東京慈恵会医科大学附属病院 院長）
- リサーチマインドをもった総合診療医養成の事業の紹介
大野岩男氏（東京慈恵会医科大学 総合診療内科 教授）
- 4大学における女性医師支援に対する取り組みについて
野原理子氏（東京女子医科大学 ファミリーサポート室長）
大久保ゆかり氏（東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター長）
野村恭子室長（帝京大学女性医師・研究者支援センター室長）
川瀬和美氏（東京慈恵会医科大学 女性医師キャリア支援室 副室長）
- ディスカッション
～女性医師支援に対し今後の取り組みに必要なことは何か～

科学研究費補助金（科研費）取得セミナー開催

2014年9月29日、帝京大学本部会計課主催、帝京大学臨床研究センターおよび当センターが共催し、科学研究費補助金（科研費）取得セミナーを開催しました。沖永寛子センター長の開会挨拶に始まり、基調講演として、『科研費獲得の方法とコツ』の著者である久留米大学 児島将康先生をお招きし、ご講演いただきました。また、科研費審査委員を務められたご経験のある公衆衛生学研究科教授 松浦正明先生と採択実績のある医学部脳神経外科学講座主任教授 松野彰先生より申請書類の書き方や留意点などをご講演いただきました。

このほか、科学研究費補助金取得セミナーの実施に合わせて、9月24日（水）～10月10日（金）まで当センターにて科学研究費申請書類の書き方などの相談受付期間を設けました。



女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014
～女性研究者支援とダイバーシティ・マネージメント～

2014年11月26日、文部科学省主催「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム」が開催され、当センターも参加。2006年度から今年度まで9年間、事業に採択された機関は95機関にのぼり、同シンポジウムが各機関との情報交換の場となりました。また、分科会（研究力向上・リーダーシップ育成）での選出を受け、私立大学の好事例として当センター野村恭子室長が発表を行いました。

